

東奥日報 平成28年1月16日(土) 19面掲載

**弘大図書館充実へ
10年で1千万寄付
弘前・サンライズ産業**

総合物流業のサンライズ産業(本社弘前市、工藤博文代表取締役)は15日、弘前大学に対し、付属図書館資料整備充実のための寄付金を贈った。同社は年100万円を10年間にわたり寄付することしており、寄付金は計1千万円になる。同社の創立30周年記念事業の一環。工藤代表取締役は同大学人文学部経済学科を卒業しており、学生時代に利用した図書館の資料充実のため寄付を申し出た。大学側は「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に関連する資料購入などに充てる。工藤代表取締役、尾崎善造参与が同大学を訪れ佐藤敬学長に目録を手渡した。工藤代表取締役は取材に対し「大学時代に配達のアルバイトをしたのが運送に携わるきっかけ。大学は会社の原点であり私の原点。感謝の思いを込めた」と話した。(夏坂昌芳)



目録を手にする(右から)
工藤代表取締役、佐藤学長、
郡千寿子付属図書館長

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

[問合せ先] 弘前大学研究推進部学術情報課

jm3152@hirosaki-u.ac.jp